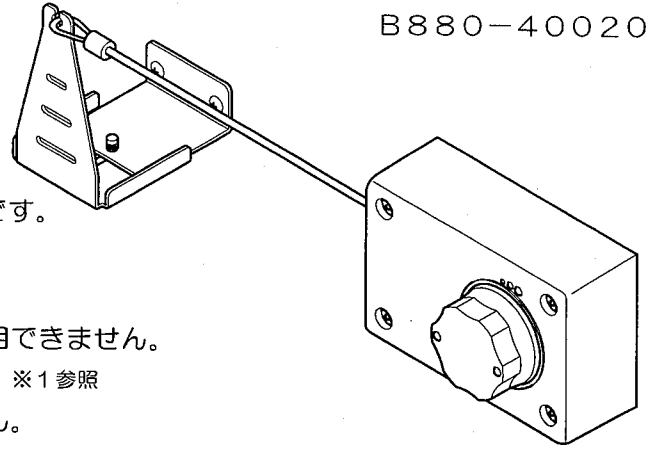


スライドクローザー 取付手順書

B880-40020B



本製品はVローラ・吊り戸・戸車タイプの引き戸が対象です。

【取付対象外の引き戸】（取付条件説明図を参照）

- ・壁内等に収納される『引き込み戸』には使用できません。
- ・障子、ふすま等の『戸車』の付いていない引き戸には使用できません。
- ・上枠が35mm以下のガラス引き戸には使用できません。※1参照
- ・戸の引き幅が1.2mを越える引き戸には使用できません。
- ・戸の重量が25kg以上の引き戸には使用できません。
- ・お風呂場等の水回り、雨水の掛かる場所での使用は耐久上の問題があります。
- ・引き戸と枠の段差が52mm以上のものは使用できない場合があります。※2参照
条件によっては使用可能な場合があります。取付条件説明図を参照してください。
- ・枠から90mm以内の上方に障害物があるものには使用できません。※3参照
- ・枠とケーシング上部までの寸法が85mm以上のものには使用できません。※4参照

【確認事項】

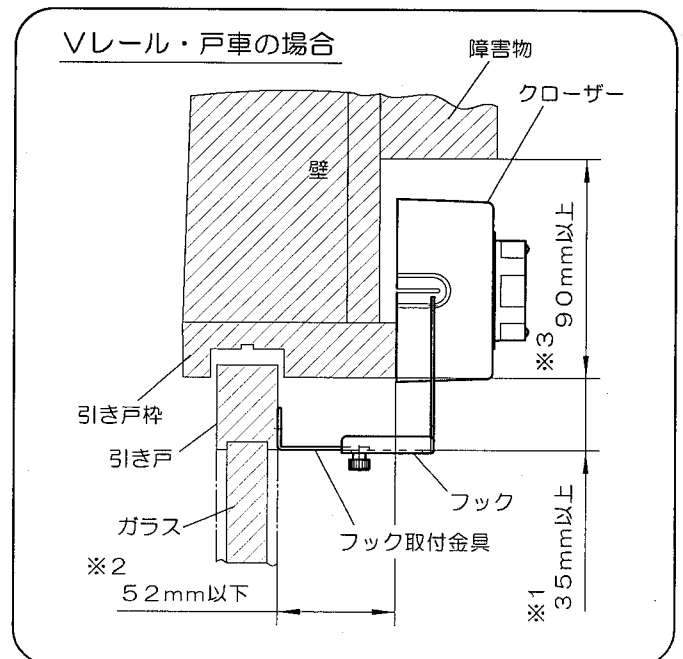
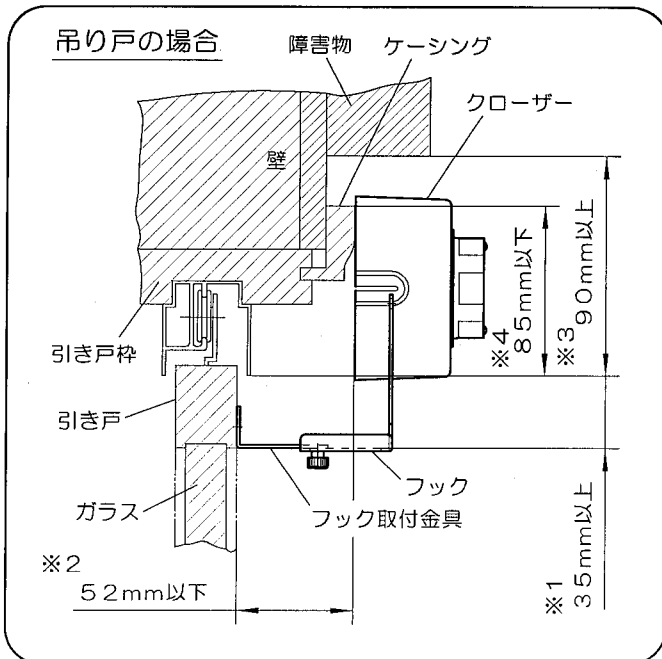
- ・長年使用されている引き戸の場合、戸車の劣化、レールの変形により使用できない場合があります。引き戸の動きを確認されて、戸車の交換、レールの交換、又は清掃、給油を行ってください。
- ・戸の引き力が0.7kg以内であることを確認してください。0.7kgを超える場合は戸車、レールの確認、引き戸の重量確認を再度行ってください。

—目次—

1. 引き戸の開き方向確認
2. 部品名称
3. 取付作業手順
4. クローザーの引き力調整
5. トラブルQ&A

【取付条件説明図】

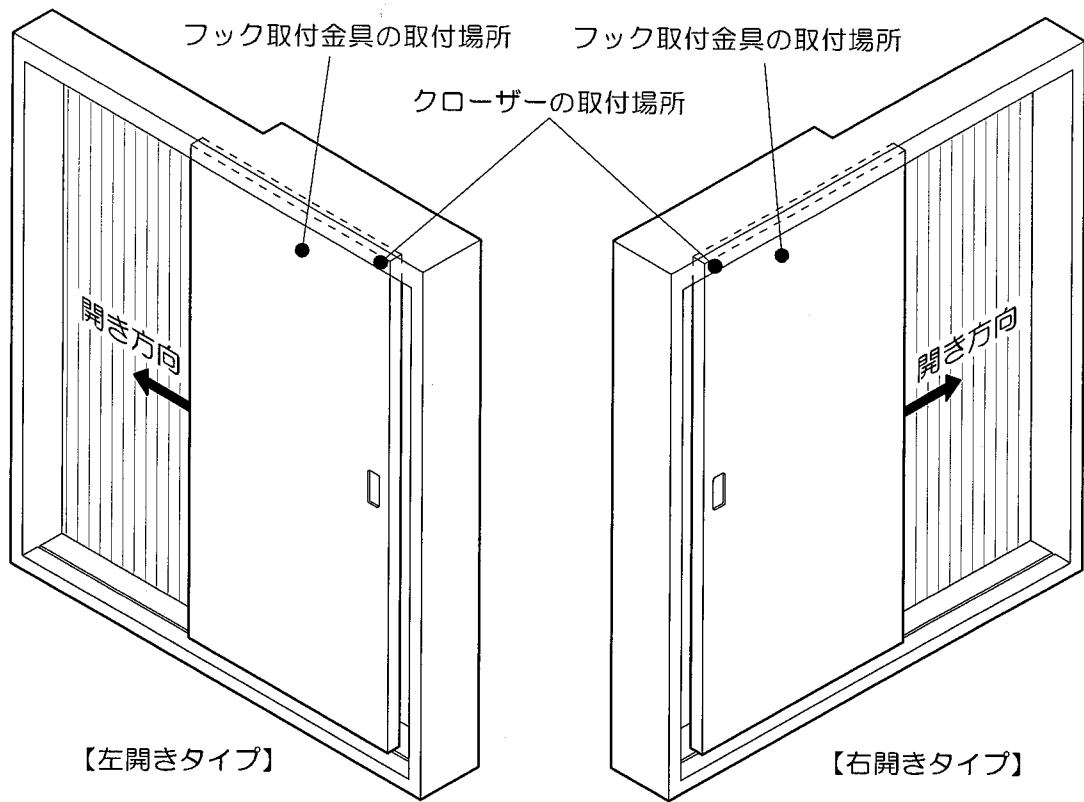
注) 下記説明図にて、取付対象の引き戸であるか確認してください。



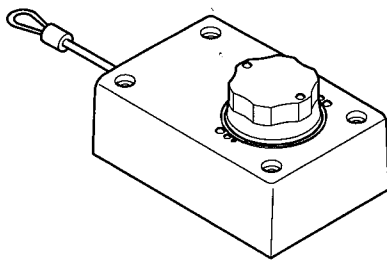
- ※ ケーシングの形状が特殊で、クローザーの取付面が15mm以下の場合には使用できません。
- ※ ガラス戸の場合はフック取付金具を取付ける穴位置がガラスに干渉しないことを確認してください。
- ※ 引き戸と枠の落差が52~72mmの場合はフックを曲げて対応してください。※2

1. 引き戸の開き方向確認

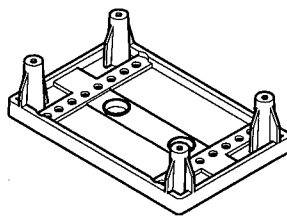
- ・クローザーを取付ける側から見て、左に開ける引き戸を左開きタイプと呼びます。
- ・本取付手順書は基本的に左開きタイプの取付けを説明します。右開きタイプは対称に取り付けます。



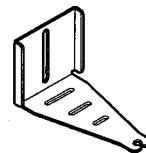
2. 部品名称



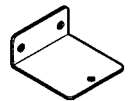
クローザー本体



ふた



フック



フック取付金具



マグネットキャッチ



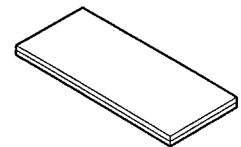
キーパーA
(木製枠用)



キーパーB
(アルミサッシ枠用)



ステッカー



型紙



調節ネジ
(1個)



下穴加工ネジ
(2個)
(アルミサッシ加工用)



4×12
タッピング
(4個)
(クローザー本体用)



4×20
タッピング
(6個)
(フック、フタ用)
(キーパーB用)



3. 1×13
タッピング
(2個)
(マグネットキャッチ用)



2. 7×13
皿タッピング
(1個)
(キーパーA用)

3. 取付作業手順

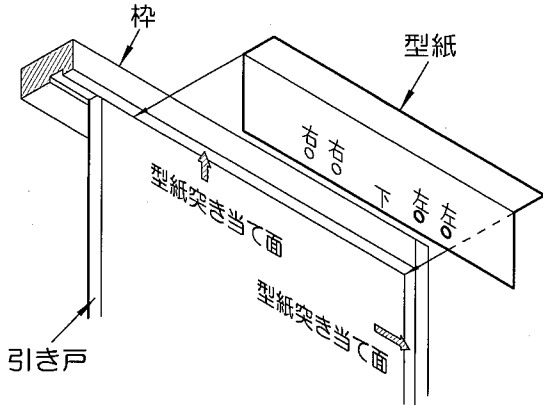
3-1. 引き戸の穴開け

1. 引き戸を完全に閉めて、型紙を図の通りの指定位置にテーピング止めをします。（型紙の当て方図参照）
2. 千枚通し等の先端の鋭いもので“左”ポイント2ヶ所に印をします。
3. アルミサッシの場合は、さらに下穴加工ネジで穴明けをします。

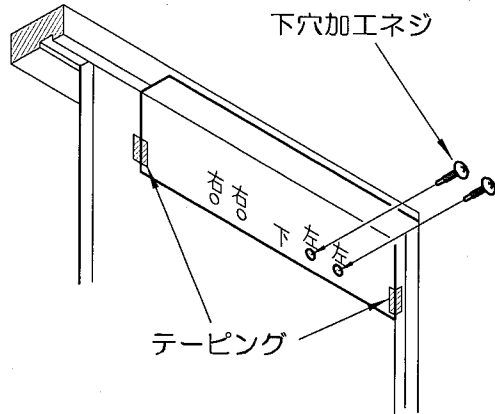
注) ϕ 3mm以下のドリル加工（深さ15mm以下）を行うと取付けやすくなります。

注) ガラス入りサッシの場合、上枠のガラスまでの寸法が35mm以下は取付けできません。

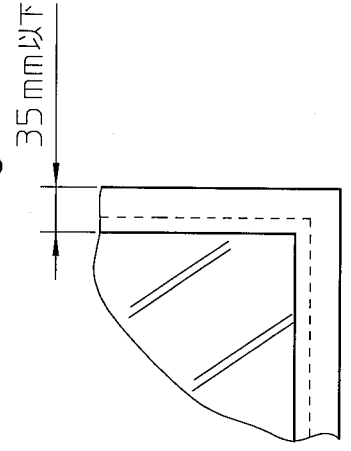
注) 右開きタイプは型紙を左側に当て、“右”ポイントに印をします。



型紙のセット



ポイントのマーキング

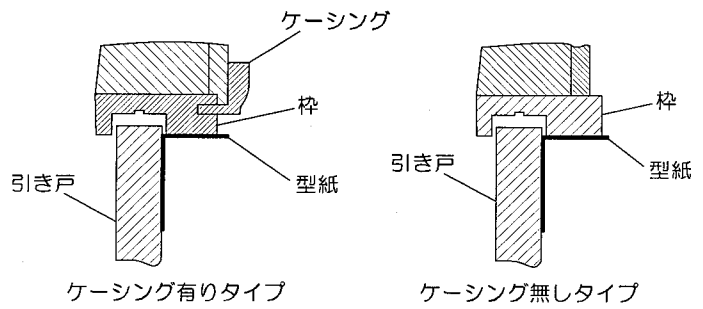


装着不可のガラス戸

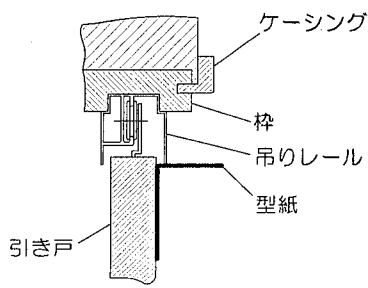
(参考図) 型紙の当て方図

注) 引き戸のタイプにより型紙の当て方が異なります。
図を参照してセットしてください。

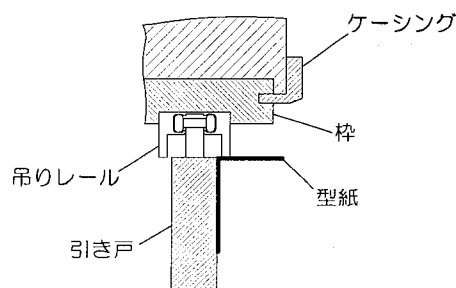
Vレール・戸車



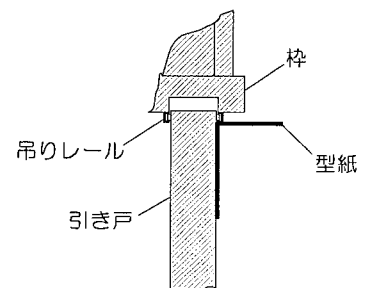
吊り戸



ケーシング有りタイプA



ケーシング有りタイプB



ケーシング無しタイプ

3-2. ふたの位置合わせ

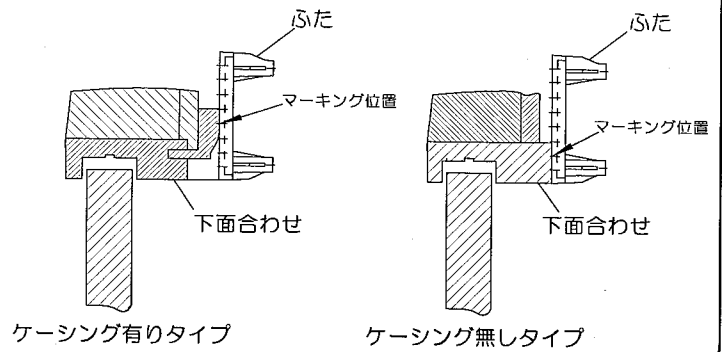
1. ふたの取付け位置合わせを行います。

注) 引き戸のタイプにより取付け位置が異なります。(図を参照)

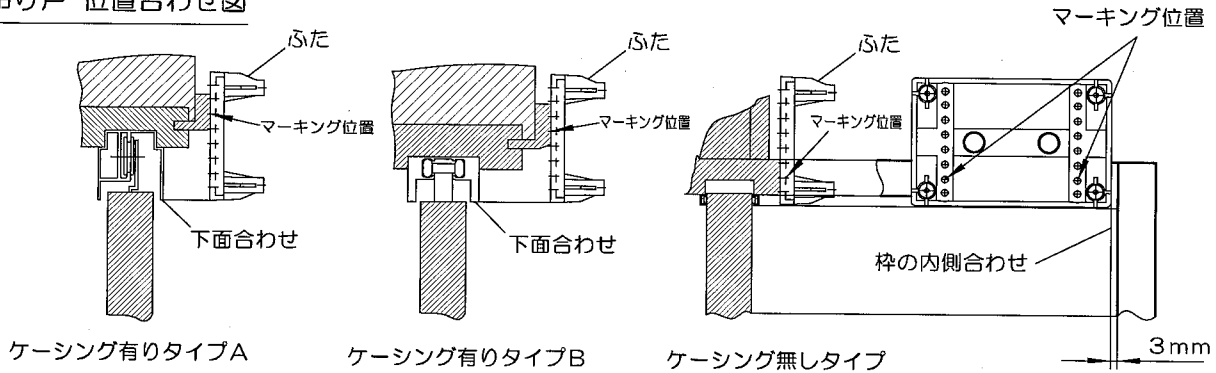
注) アルミサッシの場合はマーキング後に下穴加工ネジ、もしくはφ3mm以下のドリルで下穴加工をしてください。

注) 取付け部の幅が狭い場合、又は集合材の場合は割れ防止の為、取付け穴位置マーキング後にφ3mmの下穴加工をしてください。

Vレール・戸車 位置合わせ図



吊り戸 位置合わせ図



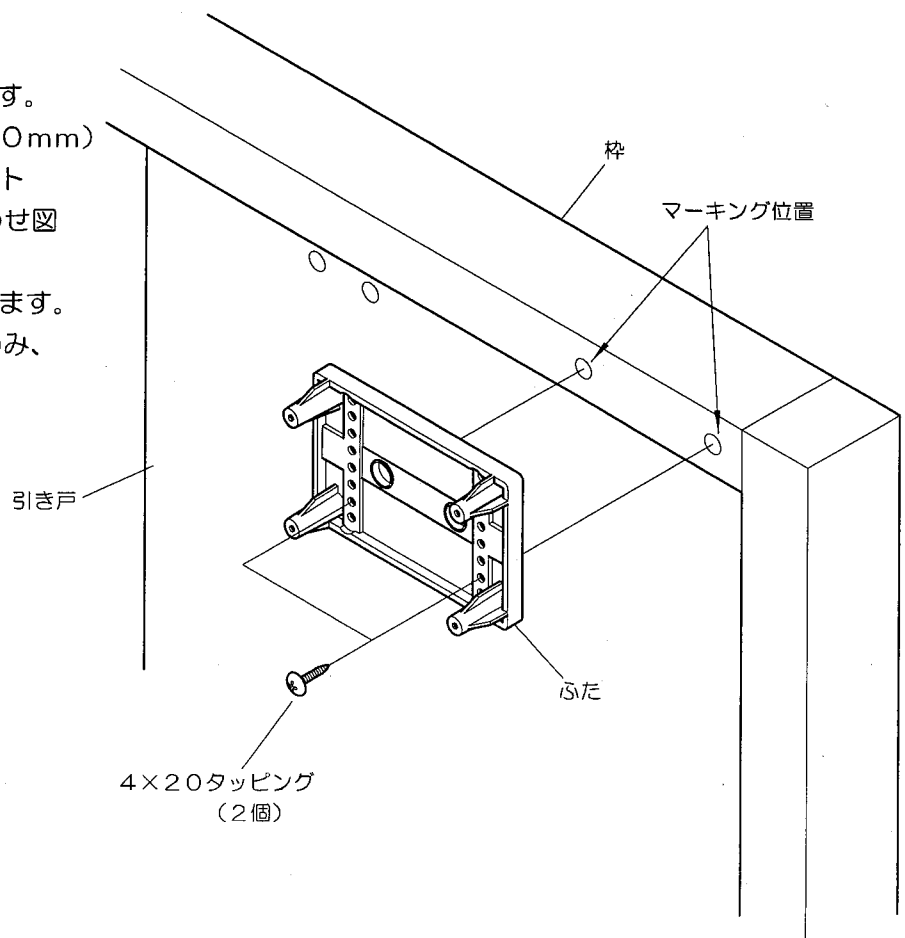
3-3. ふたの取付け

1. 合わせた位置にふたを取付けます。

注) 使用ネジ寸法に注意 (長さ20mm)

注) 取付け後、指定の通りにセットされているか、再度位置合わせ図を確認してください。

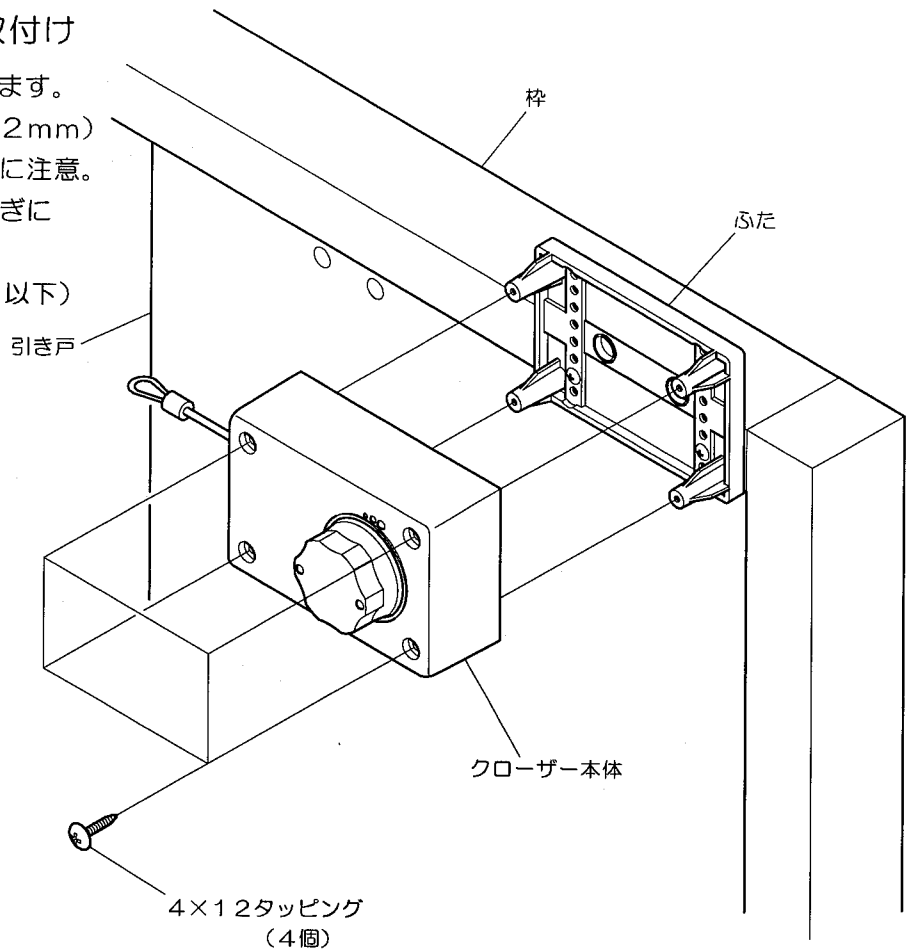
注) ふたの取付け穴には膜があります。マーキング時に必要な穴部のみ、除去してください。



使用ネジ：4×20タッピング (2)

3-4. クローザー本体の取付け

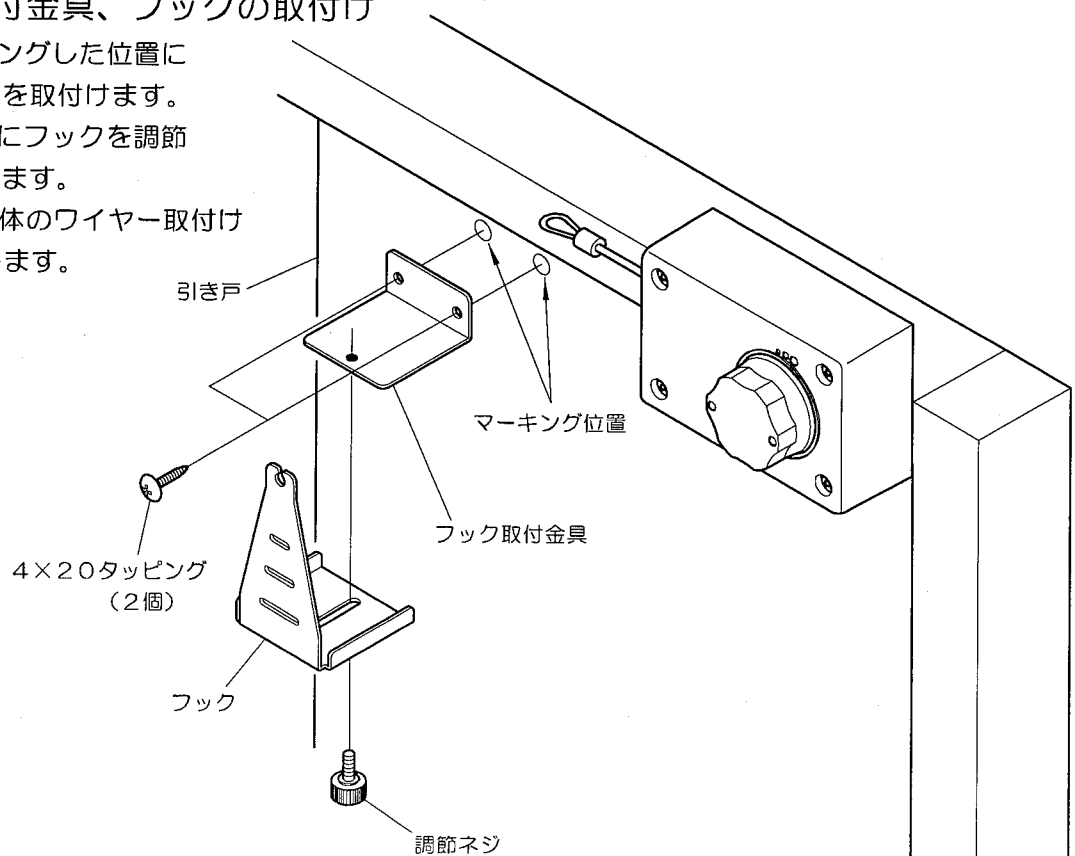
1. ふたにクローザー本体を取付けます。
注) 使用ネジ寸法に注意 (長さ12mm)
注) クローザー本体の取付け方向に注意。
注) 4×12タッピングの締めすぎに
注意してください。
(締付けトルク1.0N・m以下)



使用ネジ: 4×12タッピング (4)

3-5. フック取付金具、フックの取付け

1. 引き戸のマーキングした位置にフック取付金具を取付けます。
 2. フック取付金具にフックを調節ネジで仮付けします。
- 注) クローザー本体のワイヤー取付け後に本締めします。



使用ネジ: 4×20タッピング (2)

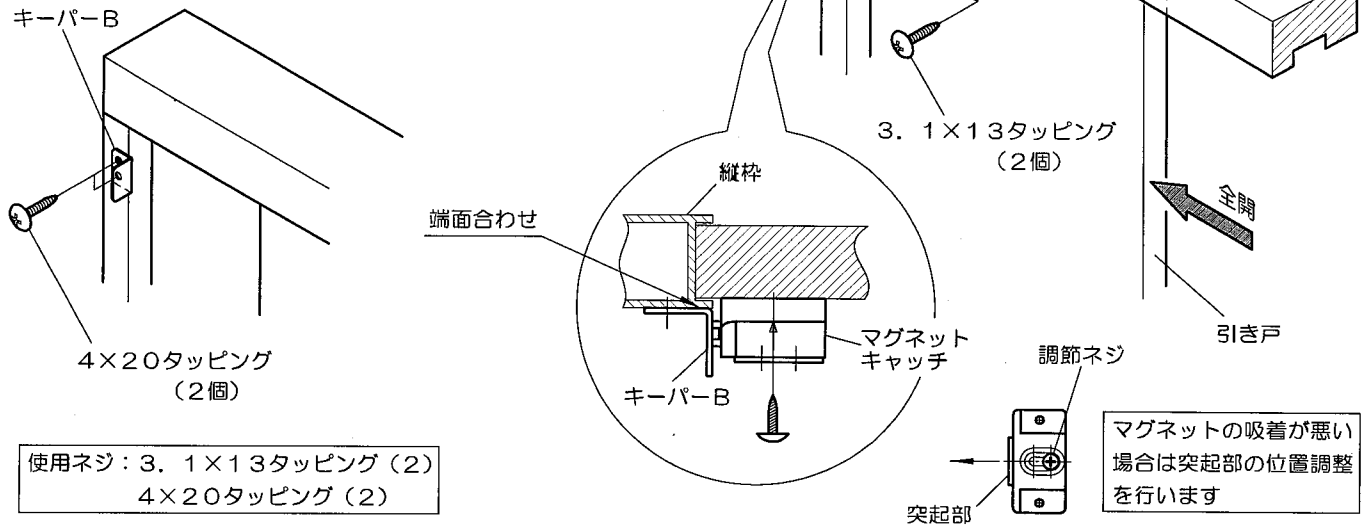
3-6. マグネットキャッチ、キーパーの取付け（アルミサッシの場合）

1. 引き戸を全開して、キーパー-B
を付けた状態でマグネットキャッチ
を引き戸に取付けます。

注) 枠の下面から10mm程度の位置に
取付けます。

2. キーパー-Bを縦枠に取付けます。

注) $\phi 3$ mmの下穴を開けると作業が
容易にできます。



3-6. マグネットキャッチ、キーパーの取付け（木製の場合）

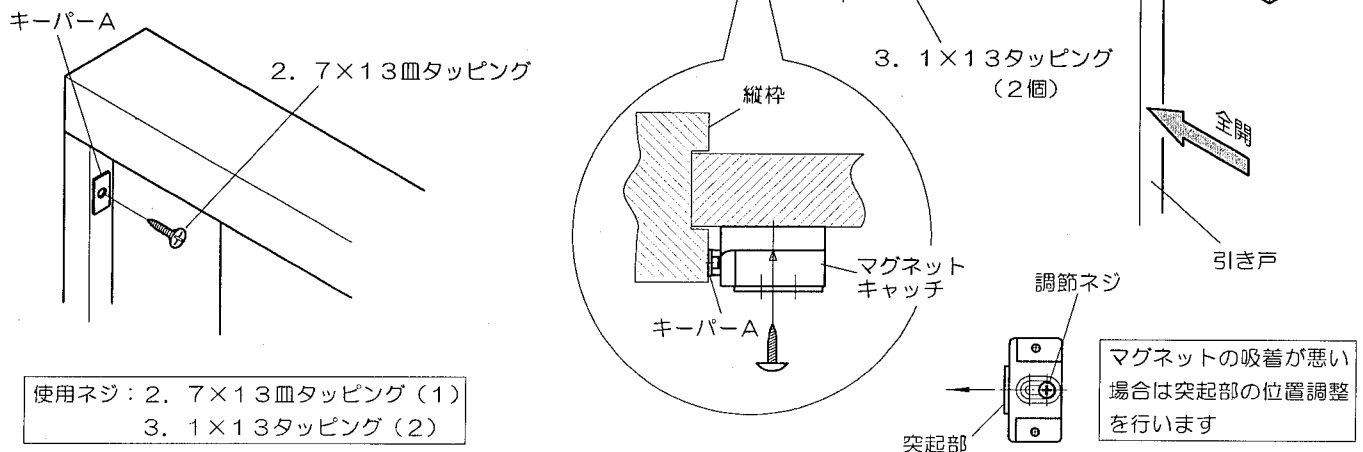
1. 引き戸を全開して、キーパー-A
を付けた状態でマグネットキャッチ
を引き戸に取付けます。

注) 枠の下面から10mm程度の位置に
取付けます。

2. キーパー-Aを縦枠に取付けます。

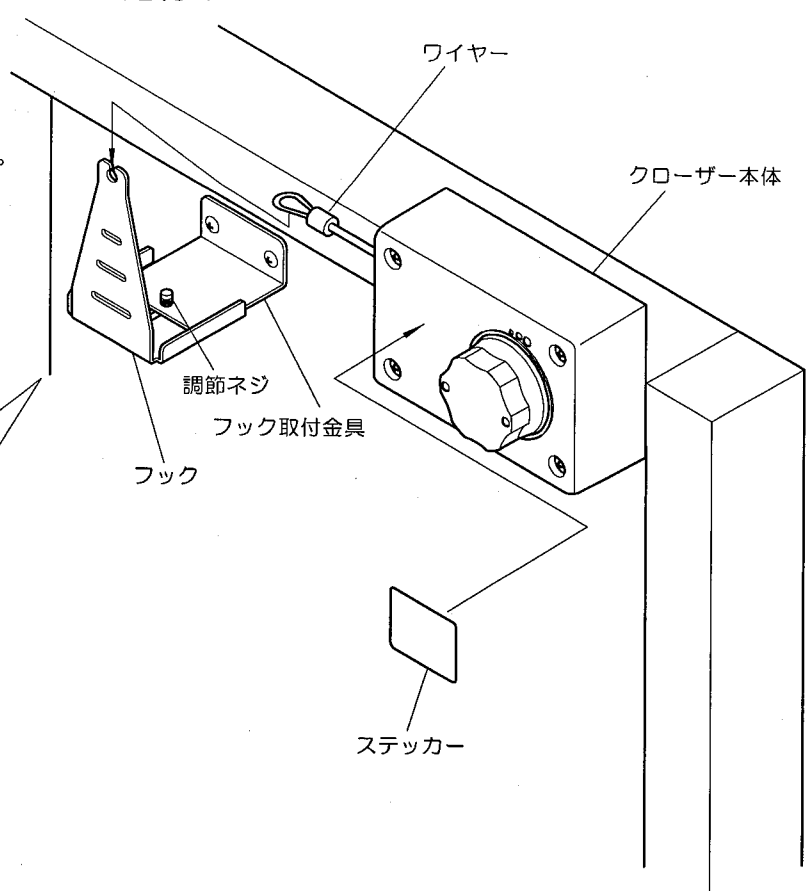
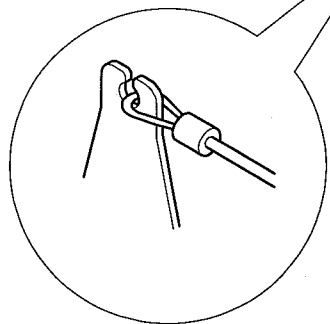
注) キーパーの取付け位置を印して
ください。

注) キーパーの皿部を正面にして
ください。



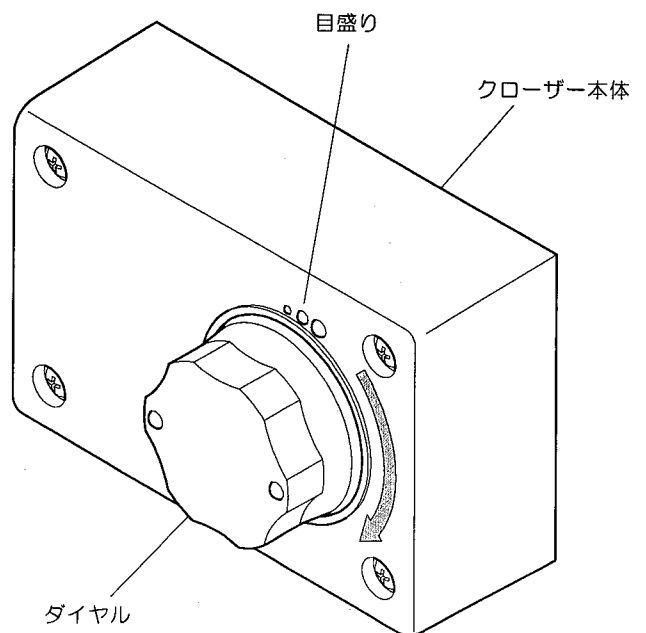
3-7. ワイヤの取付け、ステッカーの貼付け

1. クローザー本体のワイヤー部をフックの溝部にセットします。
注) 溝部に確実にセットしたことを確認。
2. フックをスライド調整し、ワイヤーが平行に引き出される位置で調整ネジを本締めします。
3. ステッカーをクローザー本体に貼付けます。



4. クローザーの引き力調整

1. クローザーの引き力調整を行い引き戸の閉じる速度を設定します。
(標準引き力設定方法)
 - 引き戸を100mm程度開けて完全に閉まる位置までダイヤルを右方向(矢印方向)に回します。
 - ダイヤルがカチッとロックする位置で手を放してください。
 - 数回引き戸の全開閉を行い確実に閉じることを確認してください。
2. 引き力を変更したい場合は再度設定しなおしてください。
 - 強くしたい場合
さらに右方向(矢印方向)に回します。閉じる速度の上げ過ぎに注意してください。お子様が閉まる戸に手を挟まれるなどの危険があります。
 - 弱くする場合
ダイヤルを軽く押し込みながら左方向(反矢印方向)に回します。押ししていた手を引き、カチッと音のするロック位置で手を放してください。ロックさせない状態で手を放すと引き力が最低の位置までダイヤルが戻ってしまいます。



矢印回転(右回り) : 引き力が大きくなります。
反矢印回転(左回り) : 引き力が小さくなります。

5. トラブルQ&A

Q 途中で引き戸が止まってしまう。

A 戸車、レールの状態を確認してください。異物、ゴミ等が妨げになっていませんか。又、脱輪していませんか？設定した引き力が弱すぎた場合もあります。引き力調整を再度行ってください。又、フックの位置がずれていて、ワイヤーとクローザーの平行が著しくずれていませんか？フックの位置調整を行ってください。

Q 引き戸が全開しなくなりました。

A 引き力設定が高すぎます。ダイヤルを左にして引き力を弱めてください。戸が全開になる位置まで設定し、戸が完全に閉まることを確認してください。

Q 引き戸が閉じる時のショック音が大きい。

A 戸を閉めることが可能な引き力まで若干調整するか、市販品のドアクッション材を利用してください。

Q 引き戸がひかれる時に異音がする。

A 引き戸と枠が擦れていませんか？引き戸の枠ガイドを調整してください。引き戸とレールの間に異物はありませんか？除去してください。

Q マグネットキャッチで引き戸が固定できない。

A 引き戸、もしくは枠が歪んでいる可能性があります。マグネットキャッチを調整してください。

※ ご使用上の注意事項

- クローザー本体、フックに荷重を掛けないでください。破損の原因になります。
- ワイヤーに手を掛けないでください。部品破損、ケガの危険があります。
- 引き戸を取り外す際は必ずワイヤーをはずし、フックの破損に注意してください。
- ネジは確実に締めてください。製品の脱落、破損の原因になります。
- 引き戸の戻し速度はできるだけゆっくりを設定してください。低速度が安全です。
- Vレール、戸車タイプの引き戸の場合、溝の清掃を定期的に行ってください。戻りが遅くなった対応として引き力を強くすることは、長くご使用いただく上でお勧めできません。

※ 本製品ご利用のお勧め

- いつも開いたままの引き戸に嫌な思いをしていませんか。冷氣や埃、猫や犬まで家の中に入ってきて困るというご家庭にお勧めです。
- バリアフリーにしたけれど、引き戸の開け閉めが手間で！というご家庭にお勧めです。
- 玄関、トイレ、脱衣所、バルコニー、あるいは工場の出入り口まで、あらゆる引き戸に対応しています。
- 引き戸枠に飾りのケーシングがあって今まで装着のできなかった引き戸にも取付けられます。

※ この取付手順書は大切に保管してください。万一、ご使用中にわからないことや異常が生じたとききっとお役に立ちます。

お買い上げありがとうございました

製造元：旭産業株式会社